

陶の里定期巡回ステーション
令和6年度 第1回介護・医療連携推進会議

令和6年9月26日 13:30～
陶の里にじいろハウス1階

出席者:多治見市役所高齢福祉課 渡辺様
 陶の里ケアプランセンター 藤本
 太平地域包括支援センター 高橋様
 訪問看護ステーション陶の里 原 NS
 社協たじみ南 松井 CM 様
 陶の里定期巡回ステーション 三好
 美濃陶生苑 西尾 CM 様

開催事項内容

1. 上半期の利用状況及び活動報告
2. 家族様及び他職種との連携
3. アクシデント
4. 定期巡回サービス利用によって得られる効果
5. 今後の定期巡回サービスの在り方について
6. ご意見・ご質問

1. 上半期の利用状況及び活動報告について

【利用状況】R6.3月～R6.8月

(利用者数推移)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
要介護1	4名	3名	5名	5名	4名	5名
要介護2	0名	1名	2名	2名	3名	2名
要介護3	1名	1名	1名	1名	1名	1名
要介護4	0名	0名	0名	0名	1名	1名
要介護5	0名	0名	0名	0名	1名	0名
合計	5名	5名	8名	8名	10名	9名(1名区変中)
平均介護度	1.4	1	1.5	1.5	2.2	1.7

(サービス内容)

要介護1	服薬、安否確認、食事提供、水分補給や室温調整(熱中症予防のため)
要介護2	服薬、安否確認、食事提供、水分補給や室温調整(熱中症予防のため)

	排泄確認、掃除、洗濯、買い物
要介護3	服薬、安否確認、食事提供、水分補給や室温調整(熱中症予防のため) 起床・就寝介助、トイレ介助、掃除、洗濯、買い物
要介護4	オムツ交換、トイレ介助、起床介助、食事介助、入浴介助(短時間) 水分補給や室温調整(熱中症予防のため)
要介護5	看取り、がん末期の方の排泄介助、食事介助、水分補給、保清など

・家族様の協力を得ながらケアを実施している状況です。

(オペレーター対応) 固定電話、携帯、通報システムを利用されています。

	3月	4月	5月	6月	7月	8月
電話対応	2回	2回	4回	8回	28回※1	25回※1
随時訪問	2回	2回	0回	0回	12回※2	10回※2

※1 うち19回は同一の利用者様・担当 CMからの問い合わせ

※2 うち8～10回は同一の利用者様宅への訪問(不安からくる心因性の体調不良)

- ・電話対応内容…排泄介助依頼。不安、確認。徘徊連絡対応。
- ・随時訪問内容…排泄介助。徘徊の方を近くの薬局(サービスに支障のない距離)に迎えに行く。
体調不良から様子を見に来て欲しい。

【活動の報告】

運営開始から2年半が経過し、7月には過去最高の10名様のご利用がありました。職員も定期巡回サービスの経験値が上がってきており、様々なケースの在宅支援に対応することができている。職員数も少しずつではあるが増えてきているため、早朝、夜間帯にも柔軟に対応できるよう努めている。

2.家族様及び他職種との連携

- ・スマケアシステムを活用し、リアルタイムで訪問した際の状況を確認頂くことが出来ます(ご家族様、担当ケアマネジャー、看護師)。また法人内の看護師とは、独自の連携システムを用いて情報共有や指示、連絡等を行なっています。
- ・多治見市で活用中のバイタルリンクを使用し、他職種との連携にも努めています。
- ・家族様との密な連携が必要な場合は、グループラインを作り、複数のヘルパーが随時直接内容を確認できるように工夫しています。
- ・新たに訪問看護ステーション2事業所と連携を結びました。今後も他事業所の訪問看護ステーションとも連携を結び、このサービスを周知して頂き、共に利用者を支えられる関係性を築いていきたい。

3. アクシデント

アクシデント 1 件あり。服薬ミス。

(内容)

デイサービスにて朝の服薬介助を行っていたが、カレンダーに本日分の朝の薬が残っていたため飲み忘れかと思い飲ませた。

(原因)

- ・デイサービスであることを忘れていた。
- ・家族様が誤って翌日の薬をデイサービスに持たせていたため、今朝の薬が服薬カレンダーに残ったままになっていた。
- ・看護師より朝の服薬忘れがあった場合は昼までに飲んでもらい、その後は飲ませないことで指示を頂いていたことを失念していた。
- ・家族様に依頼していた服薬への印字がなされていないままであった。

※前回のアクシデントに引き続き、同利用者様に対して同様の服薬ミスであった。

【今回の対策】

- ・ヘルパー間で服薬の危険性、取り扱いについて研修を行った。
- ・手順書、個別(利用者ごと)の情報共有スレッドのトップ画面に服薬情報、副作用、看護師の指示について赤字で記載。訪問時でも確認できるようにした。
- ・息子様、主治医に服薬への印字のお願いを依頼した。→既に実行済み。

※服薬介助については当然のごとく依頼が増えています。服薬に強いヘルパーとしての教育を強化していきます。

4. 定期巡回サービスを利用して得られる効果についての事例

① Kさん(要介護 1)

定期の服薬が出来ていない方で、朝・夕の服薬介助を実施。服薬が継続できたことより糖尿病の数値が正常値まで改善した。また毎日の短時間訪問で、体調不良や新たな問題点(食事が摂れていない、入浴できていないなど)を把握することができ、食事の声掛け、入浴の見守りを行い利用者の安心が得られた。

② Mさん(要介護 1)

動作時に呼吸苦あり、在宅酸素使用の独居の方。医療依存度が高いことにより朝・昼・夕の 3 回訪問にて食事準備し様子を伺う。食事量が増え体調も安定。家族から自立方向への促しもあり一日 2 回(朝・夕)の訪問に減らす。状態変化によってはいつでも訪問回数を戻せるため、安心して見守り支援に繋げることができた。

③ Kさん(要介護 5)

医療介入なしの見取りの方でした。主治医とヘルパーのみの利用でしたが、本人様のご希望に沿った自然な形での看取りを行うことが出来た。一切の治療を拒否し、医療保険を使用せず定期巡回サービスのみを使用された。

④ Fさん(要介護4)

人の出入りを好まない家庭であり、必要最低限の支援(排泄介助、食事介助)を行い退室している。老老介護であるが夫も出来る限りの協力をされており、本人や介護者の思いを聞きつつ適度な支援を行っている。

5.今後の定期巡回サービスの在り方について

①限られた地域に限定しているため、多治見市内に広げて欲しいとの声が聞かれます。今後は少しずつでも範囲を広げていき、多治見市全体に提供できる事業所を目標に進めていきたいと思っています。それには人員を増やすことが第一の課題であり、様々な活動を通して実行している段階です。

②地域住民等との連携により、地域資源を効果的に活用し、利用者の状態に応じた支援を行っていきたく考えています。他事業所との勉強会の事例の中に、本人様が利用していた八百屋でヘルパーが買い物支援をするうちに、店主のご厚意で食事を作り持ってきてもらえるようになった、セブンイレブンが行っている宅配を利用し飲み物を届けてもらっている、灯油巡回サービスの協力を得て安否確認をお願いしている、独居で寝た切りの方に町内会長さんが回覧板を持って来て読み上げて下さるなど、地域住民への働きかけを行うことで意外と支援者は集まるのではないかと感じています。地域性もあり難しい問題ですが、地域資源の活用にも目を向けていきたいです。

7. ご意見・ご質問

・まだまだ暑い日が続く冷房が付いているかの報告大変助かっています。食べ物の出しっ放しを見つけて下さったり、食中毒の危険を伝えてもらいありがたかったです。先日は体調の悪い母の様子を見に行き下さりありがとうございました。(家族様)

・自宅で生活するために必要なサービスの提供を考えると、ヘルパーさんの存在は欠かせません。今後とも継続できるよう協力させて頂きたいです。(ケアマネ様)

・お一人で生活するにはヘルパーさんは欠かせません。施設方向も考えていますが本人様が希望されない以上家族様も踏ん切りがつかせません。今後とも支援を宜しくお願いします。

Q:南ヶ丘町内会でも高齢化が進行中ですので、定期巡回ステーションの仕事に関する講演会を開催して頂けないでしょうか?

A:地域住民に向けての研修会を検討していたところですので、是非開催させて頂きたいと思っています。

(会議内でのご意見)

Q:土日のサービスについて対応できているか?

A:家族様が在宅にて必要ない方は2、3名いるが、それ以外の方は土日の訪問も希望され対応している。土日は職員が比較的少ないためサービス内容を簡潔にしてより多くの利用者宅を

訪問できるように努めている。

・要支援か要介護がどちらが出るか分からない利用者に定期巡回を使いたかったが、もしも要支援が出た場合は自費サービスになってしまうため使えなかったことがある。

Q:2 の家族様との連絡ツールにラインを使用しているとのことであったが、管理者もそれに関り内容を確認できているか？

A:管理者もグループメンバーに入っており、状況の把握を行っている。

Q:多治見市内に定期巡回事業所を増やしていきたいとの思いあり。そちらに関してはどうお考えか？

A:現在東南部でしか事業を展開できていないこと、今後多治見市全土を目標に挙げているが実現までには時間がかかる。一緒に定期巡回を行って下さる事業所があることは助かる。ただし担当エリアを決めての活動として頂きたい。

・ご夫婦で定期巡回を検討させて頂いた。奥様は施設入所されたため、ご主人までも施設入所は厳しい状況。その中で依頼を受けてもらったことは大変助かっている。

・社内のケアマネ間では定期巡回サービスの利用定着が進んでいる。ケアマネとしても頻回訪問にならないように協力していきたい。

・ALS の方で入って頂きたい方がみえたが、限度額オーバーで断念した方がみえ残念であった思いあり。

・初めて医療介入なしでの看取りのケースがあったが、看護師なしでも在宅生活が可能であることが新たな発見であった。またヘルパーのスキル向上に繋がっている。思考錯誤しながらもやりがいを感じられるサービスだと思う。